

○事業所名	横浜市総合リハビリテーションセンター（児童発達支援センター）			
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日		～	令和8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	82	(回答者数)	58
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日		～	令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	13
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さんが意欲的に達成感をもってプログラムに取り組めるよう、個々の発達と特性に合わせた支援プログラムを提供しています。見通しを持ち安心できるルーティンを積み重ねること、年齢や発達状況に合わせて次のステップにチャレンジするプログラムの2軸を考えより充実を図ります。	5領域に沿って支援目標を作成し、個々の支援内容に反映しています。担任だけでプログラムを考えるのではなく、多職種・児童発達支援管理責任者・園長がカンファランスや日々の療育に入り、直接処遇する担任とチームで支援をしています。	将来を見越してお子さんが「自己決定」する力を培うことができるように、コミュニケーションの土台となる人との信頼関係を築く支援と、様々な形の発信手段を幼児期から積み上げていくことを、さらに意識的に取り組みます。
2	保護者が家庭での困りごとを直ぐに相談でき、解決策を一緒に考える支援に力を注いでいます。我が子にあった子育ての工夫ができるように親子通園を通して保護者自身に「相談力」と「子育て力」を身につけていただく家族支援に力を入れています。	保護者とお子さんの特性や支援方法を共有できるように、わかりやすさを重視し、将来的な学齢期・成人期を見越して今必要なことのお伝えをようにしています。日々の困りごとにタイムリーに相談対応できるように相談カード・連絡カードや親子日の懇談を活用してコミュニケーションを図っています。	職員間で相談技術力に差異がないように人材育成していくことが課題です。キャリアに応じた研修や日々のOJTから育成に取り組みます。
3	日々療育が安全に遂行できるように、教室の環境設定と個々のお子さんに必要な構造化支援を職員が同じ方針のもと作ることが通園の強みです。また、加配職員が付いたことで、より安全に丁寧にタイムリーな関わりが可能となりました。	避難訓練や行事などイレギュラーな状況下でもお子さんが不安なく理解し受け入れられるようスモールステップで取り組んでいます。職員にもあえて日時を予告しない避難訓練を実施し、職員にも応用力をつけてもらう取り組みをしています。	さらに柔軟な支援技術を身につけていくために、各クラスの個々の支援を共有する事例検討会の取り組みや、キャリアに応じたOJTの強化が必要です。また、次年度は地域支援担当を設定することから、地域の幼稚園・保育所で活かせる療育技術の向上にも努めます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設・設備の老朽化が進んでおり、改善箇所や汚れが目立つ箇所が複数あります。	園庭の遊具は新しく購入し遊べるものを増やしています。また、廊下の冷えに対しては保温材を引くなどの対応をしていますが限界があります。	優先順位をつけて順次、設備改修や新しく購入する等の必要があります。
2	ホームページやSNSなどの情報発信については、マチコミアプリを使用しているもの十分とは言えません。また、父親向け保護者教室の動画配信はご案内していますが、実際は動画を見られた方は少なく改善の余地があります。	情報発信については、保護者教室やパンフレット等で必要な情報をお伝えしてきました。デジタル情報発信については、プロジェクトを立てて企画するなど検討の場が必要です。	父親に向けての動画配信は有効に活用していただけないことを反省し、動画以外の方法を検討する必要があります。また、次年度は有料マチコミアプリに変更し有効活用できるように検討します。
3	幼稚園・保育園と併用している児童が7割いらっしゃいます。地域の先生方と支援の共有を図るため療育参観は実施していますが、園訪問においては担任が日々の療育を抜けて行くため代行職員が必要になります。そのためすべての園に実施はできていません。	日々の療育を安全に遂行することを優先するため、地域支援である園訪問は緊急度が高さや、園からのニーズの高い児を優先して実施してきました。	次年度は、地域支援担当者を置き、園訪問に行きやすい体制を整えていきます。地域の環境に合ったお子さんの支援方法を探る技術と地域の支援者と共有を図るコミュニケーション力の向上が課題です。

事業所名 横浜市総合リハビリテーションセンター
(児童発達支援センター)

公表日 令和8年3月26日

利用児童数 82名

回収数 58名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	33	19	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり広すぎる必要はないが、もう少し広いと嬉しいです。 ・運動発達に問題がない子にとっては狭い気がします。 ・遊ぶ場所と活動する場所で子どもたちと入替するなど工夫されているため、十分だと思います。 ・親子日となると、どうしても狭く感じてしまいます。 ・子どもが気持ちを落ち着かせるための個別スペースがあったらよかったです。 ・クラスのお部屋の中の保護者の荷物が床置きで邪魔になっていた(収納場所をつくる必要性)、共有スペースの部屋が大人数で危なかったり、改善の余地はまだあると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は9人クラスを2教室を使って運営するなど、クラスの人数に合わせた環境整備をしています。今後もクラスの人数に合わせて教室の使い方を検討していきます。 ・お子さんが体を動かして遊べる遊戯室時間の確保や設定の工夫は今後も課題です。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	46	7	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・親子通園の期間が終わり単独通園がスタートした時期は子供も慣れておらず、先生の人数が少ないと感じました。 ・十分すぎる人数だと思います。 ・多すぎず、少なすぎず、適切だと思います。 ・職員の数は不足していると感じます。 ・横浜市の重症児をたくさん受け入れているのですから、もっと人数がいても良いと思います。 ・活動内容によってや、食事のときなど子どもたちにサポートが必要な時は先生方が来てくださるので助かっています。 ・外で遊ぶとき、先生が足りていないように感じる。単独通園の日、大丈夫か不安になります。 ・常時2人の担任、副担任がクラス運営をし、活動内容によってはさらにもう一人の先生が入ってください、手厚いです。 	<ul style="list-style-type: none"> 加配の職員が1日3名ついたことで、以前より安全に療育を提供できるようになっています。低年齢クラスや行動面に課題があるお子さんが多いクラス、課題に時間を要するお子さんなど、様々なお子さんへの個別配慮には不十分な面もあります。職員の人数配置だけではなく個々の支援の方法の改善も今後の課題です。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	52	5	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストや写真等とてもわかりやすく、個々に合った対応だと思います。 ・耳の検査をする場所がごちゃごちゃしていて、そちらに目をうばわれて検査に集中できませんでした。 ・一人ひとりの子どもの成長発達具合に合わせた構造化がされており、家庭でも参考にしています。 	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	49	6	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・靴を脱ぐところにバギー車が入ることが不潔に感じます。 ・衛生面、温度面等いつも整っていると思います。 ・こどもそれぞれに合わせて柔軟に空間づくりもしていただいています。 ・床が冷たいのはだしはかわいそうです。 ・トイレが汚れたままになっていることや、すぐ埃がたまっているところもあります。 ・廊下に物が多く、危ないです。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設そのものが老朽化しているため環境整備には課題があります。トイレの改善は早急の課題と考えています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	53	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりにあったプログラムがクラス内でも組み込まれていると感じます。 ・先生ごとに意見の違いがあり、子どもに少し無理をさせているように感じる時があります。 ・保護者以上に子供のことを理解してくれて、支援が行われていると思います。 ・とても丁寧に見てくださっていて、本当にありがたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員間の意見の相違については、児童発達管理責任者を含むチームでカンファを行い同じ支援方針で療育をするようにしています。今後もカンファ内で統一方針で実施できるよう改善を図ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	53	1	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり都度確認する機会はありません。 	

適切な支援の提供	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	55	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月毎の個別療育日の結果だけでなく、途中経過での成長、工夫なども話してもらえたら、より視点が違って子供を見られたのかなと思います。 ・いつも保護者の声にも親身になって耳を傾けてくれていると思います。 ・保護者が気づかないことも客観的に分析されていると思います。 ・心理士さんによる観察もあり、専門的、丁寧に分析されていると実感しています。 	週1回の親子登園日は、保護者の方にお子さんのアセスメントや支援方法・成長を共有するために貴重な時間です。個別療育日だけではなく親子通園日を有効に使って共有できるように工夫します。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	54	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な支援など具体的にわかりやすく設定されていて、子どもに合った対応など共有できています。 ・具体的な支援内容が設定されて、実際に的確にアドバイスしていただけて、本当に救われています。 	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	53	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・その結果こどもの成長も感じています。 ・適宜、新しい工夫を取り入れてくださり、感謝です。 	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	45	9	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスにはいろいろなタイプのお子さんがあるので、何度も同じプログラムで安心して取り組める子もいると思うのですが、我が子は何度も同じだと途中で飽きる姿が見られる時がありました。 ・その子のその時あったプログラムを用意してくれているのが伝わります。 ・繰り返して覚えるプログラム、変化を入れるプログラム等、とても柔軟に工夫していただいていると思います。 	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	39	11	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・療育参観等で共有できています。 ・担任の先生によって園訪問に積極的な方と"希望すれば行きます"という温度差がありました。 ・我が子のクラスでは行われていないような気がします。 	通園療育を実施しているため、園訪問には代行の職員が必要です。そのため継続児のお子さんと園で不応がある方を優先して園訪問を実施しています。次年度は地域支援担当を置き、必要な時に訪問ができるよう改善していきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	54	1	0	1		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	56	0	0	0	丁寧なわかりやすく説明してくださいました。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	53	2	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者教室がとても勉強になります。 ・仕事のある親にとっては参加がしづらいものも多いと思います。 	父親向けの保護者教室は動画配信をしていますが、配信を見ている方が少ないことが課題です。対面での実施を検討するなど参加しやすい方法を検討します。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	54	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・忙しそうで、長い話をするのは遠慮してしまいます。 ・親子登園日には必ず話す機会があり、助かっています。 ・毎日、細かく連絡ノートに記載していただいていますし、必要なら電話をいただくこともあり、十分共通理解できています。 	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	55	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・懇談や面談等とてもありがたいです。 ・親子日はあわただしいため、他にも機会があるとうれしいです。 ・定期的な面談はもちろん、気になることがあれば、いつも即相談し、助言をいただいています。 	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	54	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの特性を理解し、共感してくださいます。 ・心の負担が減るのをよく感じています。 ・担任はもちろんのこと、全職員の方からあたたかく見守っていただけていると思います。 	
	18	保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。	50	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・似たように特性をもつ子のママとお話できることが親にとってすごくありがたいです。 ・同じ学区の方と話せる機会もあれば嬉しいです。 ・親子分離があるため、以前よりも交流する機会は減ったと思います。 	クラスを超えて同じ学区の保護者が交流が持てる機会については、親の会の懇親会を利用して実現できるように相談していきます。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	52	3	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・先輩お母さんとお話したいと申し入れるとすぐに対応してくれて助かった。 ・相談した際は、とても迅速かつ真摯に対応していただいています。 		

保護者への説明等	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	56	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡カードや相談メモ等共有できています。 ・職員の方に直接お話しする機会も多いので、助かっています。 	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	28	15	4	9	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に発信されていると思います。 ・アナログすぎると思います。大きく変えることが難しいのはわかりますが、もう少しデジタル化してほしいです。 ・日々いただく紙の予定表やお知らせで十分です。 ・基本は紙で、あまりSNSで見ることはない気がします。 	連絡体制はマチコミアプリを利用しています。次年度は、バス位置情報が分かるようにすることや出欠席の連絡がしやすいように改善を検討中です。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	55	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者証に大きく名前を表示しているのをやめてほしい。バスの送り迎え等、外ではつけないようにしています。 	保護者証は次年度から苗字のみにすることになります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等マニュアルが策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	56	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・周知されています。子ども避難訓練で経験を積ませています。 ・防犯面では少し不安なところがあります。不審者を想定した訓練があってもいいと思います。 	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	52	3	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は園庭に逃げるだけになっているので、水害の際はそれでよいのか再検討した方がよいと思います。 	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	50	4	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・館内の入口が誰でも入れるのが心配です。もう少し防犯面を強化してほしい。 ・もし何か不備があれば、すぐにより安全な対策をとって支援が行われていると思います。 	館内の入り口の防犯対策は不審者対応訓練で確認していますが、物理的な防犯対策の改善については今後も課題です。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	51	2	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ケガした際も十分な手当を含め、速やかに対応していただいています。説明も十分です。 	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	57	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・先生との信頼関係ができ、安心して通っています。 ・ルーティン化しているところも多いので、本人はそれが安心へとつながっている。 ・安心して楽しく通所しています。頼れる職員の方がいるからこそです。 	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	56	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめは慣れずに緊張したり、嫌が様子も見られましたが、今年はずっと楽しそうに生き生き通えています。 ・通園が大好きで毎回楽しみにしています。 ・お友達とあそぶこと、給食、自宅とは違う過ごし方ができること、すべてを楽しみにしています。 	
	29	事業所の支援に満足していますか。	52	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・こちらのリハセンター以外の園を否定しがちに感じます。 ・たまに「こうした方がいい」と押し付けられているように感じる時があります。 ・親子で成長でき、とても感謝しています。 ・親身になって相談にも乗ってくれてとてもありがたい場所です。 ・保護者が卒園させることがさみしいです。 ・満足すぎて今後別の事業所にお世話になるのが不安なくらいです。 ・先生方にはたくさんサポートいただいたり、アドバイスもくださりありがたいです。 	保護者への説明やコミュニケーションの仕方において、職員によって差異があることが課題です。キャリアに関わらず保護者の方が相談しやすく、不快に感じることはないよう職員の相談技術の向上とサポート体制を作っていきます。

事業所名		横浜市総合リハビリテーションセンター (児童発達支援センター)		公表日		令和8年3月26日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	4	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな部屋を確保し、遊具を設置しています。 ・各クラスが動線を確認・共有して人数が方にならないようにしています。 ・空きクラスや部屋がもう少し必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は9人クラスを2教室を使って運営するなど、クラスの人数に合わせた環境整備をしています。今後もクラスの人数に合わせて教室の使い方を検討していきます。 ・お子さんが体を動かして遊べる遊戯室時間の確保や設定の工夫は今後も必要です。 		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	6	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの状態によっては、1:3では安全に対応することが難しい場合があります。(たとえば、行動上の問題があるケース、低年齢、肢体系) ・加配職員が入るようになり、以前よりは体制が整ってきているが、集団の中でこどもに応じた個別対応をしていく上では、人手が足りないと思うことが多々あります。 ・定員に対しては適切であると思うが、一人ひとりの状態像に対して考えるともう少し手厚くても良いのではと思います。 ・クラスによっては職員の配置ギリギリで、人がつけずに必要最低限なことしかできないことがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・加配職員が充実してきたことで行動面に課題があるお子さんのクラスは安全に療育が進められるようになっていきます。 ・個々の状態に合わせた支援がより可能になるためには、低年齢児のクラスにも人手が必要で。 		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・施設古さゆえの不便さがあるので、環境を整える工夫を常に考えています。 ・視覚的手掛かりなどの工夫をしています。 	施設設備の改善が今後の課題です。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃が行き届かない様子が確認できた時は、職員全体に周知しています。 ・肢体不自由児の過ごす療育室も1階の床のため、冷えなどは気になりますが、マットなどで対策をしています。 			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・療育中に使用できる個別の部屋が限られており、必ずしも使いたいタイミングで使用できない時もあります。 ・必要に応じてパーテーションなどを利用して個別スペースを設定しています。 			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	2	振り返りをじっくりできる時間があります。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	利用者アンケート、園長懇談を実施しています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を聞いてもらう機会がありますが、今後も検討が必要と感じています。 ・機会はあるが、改善にまでは至らず、業務のやり方の工夫ではどうしようもないことが多くあります。 	業務改善は常に行っていますが、国の法改正や電カ導入など環境が変わることで業務も変化します。その都度変化に応じた改善が必要です。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12	1				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	0	内部・外部の研修に参加しています。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	0				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13	0				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0	カンファを実施し、検討・修正しながら作成しています。			

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0	担任のみでなく、チーフや園長、多職種のスタッフも目を向け、必要時にはSVしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	0	必要時、心理評価の実施や、日々の振り返りなどで確認しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0	今年度より提示された5領域に基づいて支援の計画、説明をしています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	1	担任間、チーフなど相談して立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	1	職員同士が情報交換する機会を月1回程度設けています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0		
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0	カンファにて見直しをしています。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0		
	25	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	1	・療育参観・園訪問・療育セミナー開催などで地域の園と連携しています。 ・もっと地域に出たり、電話でのやりとりなどしやすい体制ができるとよいと思います。	園訪問を必要な頻度やタイミングでは実施できていないことが課題です。次年度、地域支援担当を置くことで改善を試みます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	0	保護者の希望をもとに引き継ぎを行っています。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	9	2	療育参観を希望する児発もありますが、こちらは伝えたいと思っても児発側の意欲・質問がないため連携できているか不明です。	地域の児童発達支援事業所や障害通所事業所等のニーズの把握やアセスメントが不十分なのが課題です。今後は地域のニーズを把握して必要な支援を検討していくことが課題です。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9	1		
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	9	1	SWが参加し、共有されています。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	3	近隣の保育所と交流保育を行っています。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	1	保護者教室は好評なものが多いです。		

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0		
	39	保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	13	0		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11	2		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	視覚的手がかりなどを使い、わかりやすいように配慮しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	2	オープンデイを実施しています。利用者家族のほか、学生や地域の人も来所していました。	
非常時等の対応	45	事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等のマニュアルを策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	13	0	毎年、書式を用いて聞き取りを行っています。あずかり薬なども含めてNsが管理しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0	実際の場合を想定すると、他課からのヘルプなどもう少し増やしてもよいと思います。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	1	毎月インシデントは共有されています。毎朝の連絡会でも周知しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	3	・身体拘束はさける方向(方法)で認識・共有しています。 ・拘束が必要なケースについては、計画書に記載しています。		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	横浜市総合リハビリテーションセンター（児童発達支援センター：難聴）			
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日		～	令和8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数)	22
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日		～	令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育とグループ療育の中で毎回保護者面談を設定することにより、家庭での様子も含めたお子さんの状態を把握し、個々のお子さんに合わせた適切な指導とアドバイスを行っています。	お子さんの生活の様子に関する丁寧な聞き取りとアドバイスの実施しています。	個別療育とグループ療育の担当がより連携をとり、有効な支援を検討することで支援の専門性を高めています。個別療育やグループ療育など活動の目的や意義などの説明が不足している面があり、改善を行います。
2	グループや個別療育の面談だけでなく、新入園保護者教室。保護者教室を実施し、保護者の聴覚障害に関する理解を深めることができます。	聴覚障害について包括的に学んでいただけるような保護者教室の内容と構成の工夫をしています。	保護者教室の提供方法の工夫（オンデマンド）保護者教室時の保育の充実など保護者が各種保護者教室に参加しやすいしくみを作っていきます。きょうだい児の保育についても検討を行います。
3	職員全員が言語聴覚士の資格をもち、聴覚障害に対する専門性の高い支援ができています。	学会派遣や研究会、講習会への参加などの療育技術の研鑽の機会を多くもっています。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	遊びを中心としたコミュニケーションの中で言語発達を促すプログラムが中心のため、プログラムの目的が保護者にわかりにくい面があります。		個別療育やグループ療育時にプログラムの目的やセラピストの着眼点などを丁寧に説明する必要があります。
2	「非常時の対応」についての各種マニュアルの保護者への説明の徹底が不十分です。	今年度より「療育ハンドブック」に各種マニュアルを記載し年度の開始時に説明を行っていますが、年度途中の入園児の保護者に対しては不十分です。	年度途中の入園の保護者に対して、入園持により丁寧な説明を行っていきます。
3	通園の人数の増加、特に0～1歳児の低年齢の児童の増加に対応し、より一層の安全管理が必要です。		グループ時の部屋の設定を低年齢の児にあわせ検討します。

事業所名	横浜市総合リハビリテーションセンター (児童発達支援センター：難聴)					公表日	令和8年3月26日			
					利用児童数	33名		回収数	22名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	1	0	0	人数が増えると狭く感じます。	活動のスペースは、今後参加人数により、より広く部屋を使用できるよう調整を行っていきます。			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	2	1	0	多いと思うときもあります。	安全管理上、十分な職員を配置するよう配慮を行っています。			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	6	2	0	・グループで人数が多いときに部屋の棚の上においてあるもの、テーブルなど危ないときがあります。 ・部屋やトイレのドアストッパーが弱く止まりきらないことがあり、こどもがいる環境としては少し危ないと感じます。	いただいたご意見をもとに部屋の安全管理を徹底しています。部屋のストッパーについては、可能な対策を検討します。			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	0	2	0	・トイレが暗い。 ・暖房が効きすぎて暑いです。	・トイレの照明については検討します。 ・部屋の温度の管理については、適宜申し出ていただければ調整可能です。			
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	0	1	1	・今のところ、あまり専門性のある支援を受けている実感はありません。手話とか教えてくれれば良いと思います。 ・個別療育の時は、STの方と雑談で終わってしまうことがあり、今日までの成長や次回までの接し方など教われると嬉しいです。	いただいたご意見を参考に今後も療育と保護者支援の質の向上を図ります。			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	0	0	1					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	2	1	0	こどものことを十分理解しているとは言えないと思います。	いただいたご意見を参考に、今後も療育と保護者支援の質の向上を図ります。			
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	0	0	0					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	1	0	0					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	3	0	1		活動プログラムについては、お子さんの学習の積み重ねをねらい、あえて継続的な内容にすることもあります。保護者の方に丁寧な説明を行うようにします。			
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。（園訪問等による間接的なサポートの実施）	12	4	1	5	・園訪問はお願いしたらできるのででしょうか。 ・地域で他の子どもと活動する機会は今のところないと思います。	・保護者の方や園のご希望に基づき幼稚園・保育園訪問を実施しています。 ・ご希望があれば、リハセンターより直接インクルージョンセミナーの案内を送付します。			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	0	0	1					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	0	0	0					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	1	0	0					
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	21	1	0	0	先生の言うことが変わることがあります。	いただいたご意見を参考に、今後も療育と保護者支援の質の向上を図ります。あわせて、丁寧な説明と一貫性のある支援に努めます。			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	0	0	0					
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	1	0	0						

保護者への説明等	18	保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。	20	2	0	0		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	2	1	1	仕事をしているため、直接相談しに行く時間が取れません。相談するとなると、直接個別療育の時しかできないので、気軽に相談できる環境（アプリ・チャット等）があると良いです。もっとインターネットを利用してsmoothな情報伝達ができるよう工夫して欲しいです。	マチコミの使用により、情報の一斉配信や出欠の確認を行っています。次年度はマチコミの機能を向上していきます。インターネット上の双方向性のやりとりについては現在の人的・設備的にも環境が整わず、事業団全体で検討していく課題です。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	1	3	0	・同上 ・記録をデータで管理していますが、紙に印刷して持参しているので、手間に感じます。	お手数をおかけしております。担当には口頭でお伝えいただいても構いません。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	5	1	3	・連絡アプリを利用しているが、欠席連絡を口頭や電話でしなければいけないのが大変なので、アプリでできるようにしてほしいです。 ・一方的な配信だけでなく、保護者側から連絡できるようにしてほしいです。	マチコミの使用により、情報の一斉配信や出欠の確認を行っています。次年度はマチコミの機能を向上していきます。インターネット上の双方向性のやりとりについては現在の人的・設備的にも環境が整わず、事業団全体で検討していく課題です。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	3	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等マニュアルが策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	4	1	2	地震や火災の訓練はしていますが、防犯・感染症等のマニュアル、対応など周知はされていないと思います。	今年度より入園時にお渡しする「療育ハンドブック」に明記するようにしました。年度のはじめにグループ療育内で保護者の方々に周知していますが、途中入園の方々への情報伝達を徹底します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	1	0	2		月1回の定期避難訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	2	0	4	計画の周知は十分ではないと思います。	今年度より入園時にお渡しする「療育ハンドブック」に明記するようにしました。年度のはじめにグループ療育内で保護者の方々に周知していますが、途中入園の方々への情報伝達を徹底します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	3	0	6		今年度より入園時にお渡しする「療育ハンドブック」に明記するようにしました。年度のはじめにグループ療育内で保護者の方々に周知していますが、途中入園の方々への情報伝達を徹底します。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	3	0	1	いつも子どもが楽しめるような取り組みを考えてくださり、見直しをもって、わくわくしながら通所しています。大変感謝しています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	0	2	0	・領収書や計画書等を電子化してほしいです。毎年サインするのも多すぎて大変です。 ・療育通うことで子どもの成長に何か違いがあるのかいまいちわかりません。	・実績記録表や計画書のサインについては横浜市で定められた方法にしたがっています。 ・引き続き、療育の質の向上を図っていきたいと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		横浜市総合リハビリテーションセンター (児童発達支援センター：難聴)		公表日		令和8年3月26日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0		低年齢の子どもの増加により、より一層の部屋内の整理が必要です。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0		療育の質や安全性の向上のため、職員体制を強化を検討する必要があります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	0		施設内の物が多いため、整理整頓する必要があります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0		引き続き、個別療育等を活用し、保護者からの意見を聞き取りやすい環境を保障します。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0		業務繁忙のため課会議の時間が十分とれないことがあり、業務の効率化を図る必要があります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	0			

適切な支援の提供	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0		支援の前後に打ち合わせを行っていますがその時間が十分にとれないこともあります。また、非常勤職員の勤務時間により打ち合わせの時間がとりにくい場合があります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答)	3	0		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	3	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	0		
	31	(31は、事業所のみ回答)	3	0		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	2	地域集団を併用している子が多いため、機会を設定することがありません。		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0			
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0		途中入園のご家族に対しては、十分な説明の時間が取れていない可能性があるため、確認の上、必要に応じて改善を図ります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0		
	39	保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	0		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0		

保護者への説明等	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	0		今年度より年2回園だよりを発行しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	1		
非常時等の対応	45	事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等のマニュアルを策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0		各種マニュアルの保護者への周知の徹底が必要です。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0		様々な場合を想定した訓練が必要です。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0		安全管理は行っていますが、より多様な場合を想定して安全計画を立案する必要性があります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	0		通園療育の中で身体拘束をしなければならない場面はありませんが、身体拘束がやむを得ず必要となることがあるかも含め再検討し、実施するにあたっては明確な基準を検討する必要があると考えます。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	横浜市総合リハビリテーションセンター ぴーす新横浜（児童発達支援事業所）			
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日		～	令和8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48	(回答者数)	45
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日		～	令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりのお子さんに適した支援の実施	療育プランにおいては、保護者の意向も踏まえた一人ひとりのお子さんにあった個別支援計画を作成し、それに基づいて他部門の専門職と連携しながら、お子さんに適した支援を実施しています。	さらに充実を図るため、一人ひとりの発達や行動をアセスメントする力を高める研修を実施していきます。
2	保護者支援の充実	各ご家庭にあわせた子育てが支援できるよう、各種勉強会の実施・定期的な面談などを通して、お子さんに対する理解を深めていただき、療育的な対応が家庭や地域の中で発揮できるよう努めています。	保護者の不安や悩みなど、安心して話せる場になるよう努めていきます。お子さんの成長への期待と不安に寄り添っていただけるよう、保護者支援のプログラムを今後も工夫していきます。
3	地域連携と就学後の継続的な支援	園訪問や療育参観、就学時の引継ぎなど地域で安心して生活していけるように理解を広め地域生活のサポートを増やせるように努めています。また、学齢期を継続的に支援する事で幼児期の療育をより良い支援に出来るように努めています。	保育所・幼稚園・小学校などとの連携をさらに充実できるように努めていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	緊急時、防犯、感染症対策に関する説明	スタッフ間で緊急時の対応などの共有を適宜行っていますが、保護者への説明の機会が少ないと思われます。	年度初めの説明やハンドブックの中への記載だけでなく、療育室内に常に掲示する等の工夫をしましたが、さらに定期的な見直しのタイミングで保護者への注意喚起をするなど計画していきます。
2	地域との交流機会の不足	「保育所や幼稚園等との交流や地域の子どもと活動する機会」を療育内の活動として提供できていません。保育所や幼稚園など地域生活を主体にしているお子さんが対象の施設であるため園訪問や療育参観の機会を通して園との連携を行っています。	保護者の方の要望などを伺いながら、必要とされている交流の方法などを検討していきます。
3			

事業所名 横浜市総合リハビリテーションセンター
びーす新横浜（児童発達支援事業所）

公表日 令和8年3月26日

利用児童数 48名

回収数 45名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	41	4	0	0	・体を動かすプログラムの時は、もっと広いといいと思います。 ・広々としていて、整理された空間になっていて、とても過ごしやすいと思います。	限られたスペースでも安全に遊べるように工夫をしています。また、散歩や外のグラウンドでの活動も計画していきます。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	42	3	0	0	トラブルが起きた時などは、もう一人いると良いと感じる時もあります。	保護者のみなさんやお子さん自身が安心・安全に過ごせるよう、臨機応変にスタッフが配置できるように工夫していきます。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	45	0	0	0	イラストや写真等とてもわかりやすいです。	お子さんの視点にたってみるに分かりやすい提示を行えるよう工夫していきます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	43	2	0	0	・手洗い場がトイレにしかなく、その一点のみ不便に感じます。 ・空間はよく整理されており心地よい環境です。	療育室外へのトイレの動線ついて工夫をしています。制作時はおしぼりやウェットシートなどの準備をしてすぐ拭ける工夫をしています。	
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	44	1	0	0	・とてもよく見てくれ、プロの視点でアドバイスをくれるので勉強になります。 ・それぞれの特性に合わせた支援が受けられていると思います。	今後もお子さんの様子を確認しながら特性に合わせた支援ができるよう努めています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	44	1	0	0			
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	44	1	0	0	子ども、保護者両方のニーズを取り入れてくれています。		
	8 児童発達支援計画には、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	44	1	0	0			
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	45	0	0	0			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	42	3	0	0	・毎回楽しいプログラムを用意してくるので子供が通うのを楽しみにしています。 ・子の特性に合わせた固定化と判断区別が難しいです。	お子さんが楽しめるプログラムの工夫をしながらも、保護者のみなさんにはプログラムのねらいや繰り返しの意図などわかりやすい説明をしています。	
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。（園訪問等による間接的なサポートの実施）	41	4	0	0	もう少し園と情報交換してもらえたらうれしいです。	個人情報に配慮しながら積極的に連携していきます。	
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	45	0	0	0			
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	45	0	0	0			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	43	2	0	0	・もっと親に向けた研修会を増やしてほしいです。 ・ズームで心理士の先生のお話や、先輩保護者の会のお話が聞けて、特に参考になりました。	保護者教室などを年間で計画的に進めていますが、保護者の希望やクラス状況によって頻度や内容は調整していきます。	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	43	1	0	0	1	・なかなか時間が足りない事が多く、本当はもう少し伝えたいです。 ・連絡票で1週間の様子を共有しています。 ・限られた時間、人数の中では充分とまではいえず、難しいです。	それぞれのご家庭にあった方法で丁寧に共通理解が図れるように工夫していきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	45	0	0	0	0	・定期的に面談もあり、困った際は都度対応してくれます。 ・面談や日々の懇談で多くの助言をいただき、とても子育てに役立っています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	44	0	0	0	1	いつも共感的に支援してくれ、感謝しています。	
18 保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。	45	0	0	0	0	毎週顔を合わせることで、自然と話せるようになっています。		

保護者への説明等	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	45	0	0	0	何かあればすぐに相談に乗ってくれ、先生の方からも電話をくれます。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	45	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	36	5	0	4	使用している連絡アプリが使いにくい。もう少しコンパクトなものだと良いです。	今年度までご不便をおかけしていました。次年度より改善していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	45	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等マニュアルが策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	42	1	0	2	訓練については不明です。	年度初めの説明と療育内外にマニュアルの掲示をしています。都度注意喚起などしながら安全管理に努めています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	42	1	0	2	みんなで非常階段を降り、近くの公園へ避難する練習をしました。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	43	2	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	41	1	0	3	何かあればいつも迅速に対応していただいています。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	45	0	0	0	先生方が優しく、温かいので安心感を持っています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	45	0	0	0	・とても楽しみにしています。 ・子どもが安心して過ごせる場所です。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	43	2	0	0	・いつも親子共々楽しく過ごさせていただき、とても勉強にもなっています。ありがとうございます。 ・通えてよかったとすごく思っています。	

事業所名		横浜市総合リハビリテーションセンター びーす新横浜（児童発達支援事業所）		公表日		令和8年3月26日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	空間は限られているが、設定の工夫で子どもたちの課題に合わせた活動の場を確保できています。	安全を第一にお子さんが楽しく過ごせる場所の確保を工夫していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	・クラス状況に合わせて、担任以外の職員の配置を工夫しています。 ・お子さんの状況によっては、難しいこともあるので、ゆとりがあると安心です。	安心してクラスが運営できる体制を検討し、臨機応変にフリースタッフがはいるように工夫していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0		夏の暑さや冬の寒さに対する対策は今後も積極的に検討していきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・日々のミーティング・会議などを通して意見交換をする機会が多く設定されています。 ・必要時、意見を伝えられる環境です。	コミュニケーションの機会を大事にしながら日々の研鑽と業務の効率化を両立できるよう努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0		法人としても事業所としても計画的に研修を実施し、自身を振り返る機会を積極的に設けていきます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0		今後も多職種連携を積極的に進めていきます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・クラスミーティングやカンファレンスなどで、お子さんの支援について検討しています。 ・日常的に子供の姿、課題・支援について共有する場が設定されています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	日々振り返りや次回に向けてのミーティングを丁寧に行い、個別支援計画書にそった支援が出来るよう努めている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0			

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	各クラスのプログラム内容を共有する機会を設けています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	バランスよく組み合わせられているか客観的に確認する機会をして定期的にミーティングを設定しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	25	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	園や学校と必要時連携をしています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	園訪問・療育参観の他、必要時情報の共有をしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0		
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	2		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		保護者の希望も確認しながら必要時検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	とても努力している点です。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	・センターで実施している講座のインフォメーションをしています。 ・豊富なプログラムがあります。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0		

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	39	保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0	リフレッシュ分離なども設定しています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	1		定期的に書面で「おたより」は配布し予定の確認をしているほか、不定期ではあるがマチコミメールで情報提供を行っています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		確認の手順の際には保護者にも協力していただきながら今後も十分に配慮していきます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1		
非常時等の対応	45	事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等のマニュアルを策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0			

○事業所名	横浜市総合リハビリテーションセンター ほっぷ新横浜（児童発達支援事業所）			
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日		～	令和8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日		～	令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育とグループ療育の中で毎回保護者面談を設定することにより、家庭での様子も含めたお子さんの状態を把握し、個々のお子さんに合わせた適切なアドバイスを行っています。	お子さんの生活の様子に関する丁寧な聞き取りとアドバイスを実施しています。	個別療育とグループ療育の担当がより連携をとり、有効な支援を検討することで支援の専門性を高めています。
2	グループや個別療育の面談だけでなく、新入園保護者教室や保護者教室を実施し、聴覚障害に関する理解を深めることができるようにしています。年長時に就学に向けて行う「障害認識プログラム」は聴力検査や疑似難聴体験など体験を通して保護者が聴覚障害について学びを深めていくことができるプログラムを提供しています。	聴覚障害について包括的に学んでいただけるように保護者教室の内容と構成を工夫しています。	保護者教室の提供方法の工夫（オンデマンド）や、保護者教室時の保育の充実など、保護者が各種保護者教室に参加しやすいしくみを作っています。また、就学にむけてのプログラムでは、各種情報保障（機器の使用や要約筆記など）について今後内容をより充実させていきます。
3	職員全員が言語聴覚士の資格をもち、聴覚障害に対する専門性の高い支援を行っています。	学会派遣や研究会、講習会への参加などの療育技術の研鑽の機会を多くもっています。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	「非常時の対応」についての各種マニュアルの整備と保護者への説明が不十分です。	各種マニュアルはあり、「療育ハンドブック」に内容も記載しているが、周知が不十分です。	施設の特性を考慮したマニュアル類を再整備と周知が必要です。年度の開始時に保護者に説明の時間を設けていきます。
2	引き続き、騒音対策や防音、冷暖房などの整備が必要です。	施設の立地や建物の特性、構造などを考慮しながら居室を整備していくことが必要であり、時間を要している。	事業団内建築士へも相談を行い、可能な対策を講じていきます。
3	グループ療育での人的配置について、保護者からは現状は満足をいただいているが、非常勤の雇用等の調整を行って工面している状態です。	職員の配置が最低人員であり、急な職員の休みなどへの対応が難しい場合がある。	リハセンター内難聴部門と協力し安定的な職員配置に努めます。

事業所名	横浜市総合リハビリテーションセンター ほっぷ新横浜（児童発達支援事業所）					公表日	令和8年3月26日	
		利用児童数	18名		回収数	14名		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1	0	0	全員出席すると少し狭いです。	スペースの使用方法など、参加人数や活動内容に応じて、工夫できることを検討していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1	0	0	「リハセンター」の方が音環境が良いと感じます。	室内に吸音材を設置しておりますが、十分ではないと思われます。引き続き、室内の反響対策、騒音対策に努めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	0	0	1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	0	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	0	1	0	「ニーズや課題」は聞かれたことが（明示的には）ないような気がします。	今後、保護者の方とより丁寧にニーズや課題の確認や共有を行っていきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	1	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	2	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。（園訪問等による間接的なサポートの実施）	7	5	1	1		全員が地域の集団に所属しているため、交流等のニーズの有無の確認を行っています。園訪問については必要時に行っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	0	1	0	近年は紙が配られて終了でした。	保護者への周知を徹底します。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	0	0	0		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	13	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1	0	0		療育の質の向上に努めています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	1	0	0		療育の質の向上に努めています。
	18	保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。	13	1	0	0		療育の質の向上に努めています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	0	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	0	0	0		
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	2	1	1	「自己評価の結果」は見たことがありません。	自己評価の結果等は従来よりHPにて公開していますので、公開時にインフォメーションします。	

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等マニュアルが策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1	1	0		今年度より、各種マニュアルの概要を療育ハンドブックに掲載しましたが、周知が不十分でした。保護者の方に安心して施設を利用していただけるよう、周知を徹底します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	0	0	0		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	2	0	0		今年度より、各種マニュアルの概要を療育ハンドブックに掲載しましたが、周知が不十分でした。保護者の方に安心して施設を利用していただけるよう、周知を徹底します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	0	0	1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1	0	0	・とても満足しています。 ・駐車場・駐輪場があると、もっと通いやすいと思います。	駐車場、駐輪場については立地上、近隣に設置が難しく、皆さまにはご不便をおかけしております。

事業所名		横浜市総合リハビリテーションセンター ほっぷ新横浜（児童発達支援事業所）		公表日		令和8年3月26日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0		年齢をまたいだ合同グループなどで大人数の場合は、より広い会場を確保するなどの検討を行います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0	利用時の状態に合わせて、適宜職員の人数を増やして対応しています。	安定的な職員配置が必要です。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	1	壁に吸音材を貼り、残響音を抑制しています。窓が薄く、近くの交通騒音や工事音が大きく聞こえるため充分ではありません。	引き続き、可能な改善策を検討していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	0	3	空間内の寒暖差が大きいため、頻繁に空調を入り切りすることで対応しています。全体がとても寒いので、寒さ対策を日々検討しています。	引き続き、可能な改善策を検討していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0	グループ療育の後は必ず全員で振り返りを行い検討を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	日常的に職員間でのコミュニケーションがとれています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	月一回以上研修の機会をもっています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0	HPにて公開しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	職員間のカンファレンスでこどものプログラムを検討しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	標準化された検査の実施、インフォーマルなチェックリスト、行動観察を行う上での網羅的なフォーマットを開発して使用しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0	グループ活動の前には必ず打ち合わせをしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0		

適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	プログラム立案、実施、振り返りの流れは毎回実施しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0	筆記による記録のほか、必要時には療育のVTRを見直して支援の検証をしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	必要に応じて、園訪問を実施しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	保護者の同意の上で書面による情報提供やひきつぎをしています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	0	日常的に連携をとっています。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	0			
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	個別・グループとも毎回保護者面談の時間をとっています。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0	毎回の保護者面談とともに保護者教室や就学にむけての保護者プログラムを実施しています。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0	毎回の保護者面談とともに保護者教室や就学にむけての保護者プログラムを実施しています。	

保護者への説明等	39	保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	0		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0	まちコミの導入により迅速な保護者への連絡は可能となっています。今年度より年2回園だよりを発行しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	個人情報保護研修を実施しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		難聴のある保護者に対し安定的に情報保障を行えるよう、機器の導入を含め検討していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	1	事業団としてオープンデイを開催しています。	
非常時等の対応	45	事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等のマニュアルを策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0	月1回の避難訓練を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0	BCPを策定し定期的に避難訓練を行っています。	様々な場合を想定した訓練が必要です。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0	年度初め、プログラム時に確認しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	安全計画を作成し、実施しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0	今年度より通園ハンドブックに掲載いたしました。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0	常に課会議でインシデントアクシデントについて共有し対策を講じています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	職員の研修を行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	0		通園療育の中で身体拘束をしなければならない場面はありませんが、身体拘束がやむを得ず必要となることもあるかも含め再検討し、実施するにあたっては明確な基準を検討する必要があります。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	横浜市総合リハビリテーションセンター 保育所等訪問支援			
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日		～	令和8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日		～	令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○訪問先施設評価実施期間	令和8年1月5日		～	令和8年1月30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月26日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さん自身が園生活の中で力をつけるための具体的な支援を考える専門職が所属しています。その専門性を活かしながら、短期/長期的な支援を考え、支援を実施することができます。	相談初期より、お子さんの生活上の困り感や、障害・発達特性、好きなこと、楽しめること、今後の生活に生かせる力を、多職種でアセスメントしています。また、必要な支援検討ができるチームや会議を活用しています。	園の保育理念に合わせて、生活の場で支援ができる人材の育成が必要です。多職種が、必要な訪問に向ける仕組みについて、事業所内で検討していきます。
2	お子さんと保護者のニーズを丁寧に聞き、生活全体をイメージしながら、保育所等訪問支援の計画を立てることができます。	計画相談・児童発達支援管理責任者・訪問支援員・外来部門の個別担当者が密に連携し、計画の立案・目標の見直しなどを行っています。	実際の支援について振り返り・共有を行い、お子さんや園への支援、保護者へのフィードバックについてのスキルアップについて考える時間をもつ必要があります。
3	地域の園と一緒に、障害のあるお子さんと保護者の支援を行ってきた歴史があり、港北区の地域連携、地域支援のネットワークをもっています。	保育所等訪問支援事業だけでなく、地域の園と一緒に研修を企画したり、園向けの勉強会を開催しています。また、園のニーズに合わせた訪問を行っています。	地域の園のニーズを丁寧に探る取り組みを継続します。障害のあるお子さんの保育を一緒に考えるネットワークづくりも継続して行います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援に向く職員を十分に確保できなかったことが課題です。また、保育の現場で、先生方が実践しやすい対応の相談ができる人材を増やしていく必要があります。	保育所等訪問支援専任の人員が配置できていないことから、センター内の他事業と調整することで人員を捻出しています。	児童発達支援センターとして地域支援の力を高めるための体制づくり、人材育成が課題です。
2	現在は、実施件数が少ないため、事業の課題抽出を継続的に行う必要があります。	同上	保育所等放任支援の件数をできる範囲で増やしていきます。その中で、事業所としての課題を整理していきます。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 横浜市総合リハビリテーションセンター
保育所等訪問支援

公表日 令和8年3月26日

利用児童数 3名

回収数 3名

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1	0	0	2		支援に使用している教材等について、具体的に共有します。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	3	0	0	0		
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	3	0	0	0		
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	2	0	1	0	年長の1年間のみ利用で、回数も少なく感じた。	訪問の時期や回数の必要性について、園のご意見も伺いながら検討していきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	3	0	0	0		
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	1	0	0		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2	1	0	0		
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	3	0	0	0		
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	1	0	0		
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2	1	0	0		
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	2	0	0	1		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3	0	0	0		
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1	1	0	1		保護者向けの療育プログラムや講座を企画しています。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	2	0	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	1	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	1	0	0		
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	1	0	0		
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3	0	0	0		
20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	3	0	0	0			

保 護 者 等 へ の	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	2	0	0	1		訪問先で、どのような話し合いが行われたか、保護者に伝わるように報告いたします。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	2	1	0	0	園側からの共有がタイムリーではなく、後から知ることが多々あった。	保護者への報告について、どのように進めるか、センターと園で共有します。
非 常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1	0	0	2		お子さんや保護者への情報発信は、直接やりとりする方針で実施しています。自己評価はHPで発信しています。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3	0	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1	0	0	2		緊急時には、訪問先と連絡を取り合い、当面の対応について話し合いをしています。
満 足 度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	0	0	2		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	2	0	0	1		
	28	事業所の支援に満足していますか。	3	0	0	0		

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日			令和8年3月26日	
横浜市総合リハビリテーションセンター 保育所等訪問支援		利用児童数			3名	
回収数		3				
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3	0	0	・園生活やお子さんの様子も含めて無理なく取り入れられるものを提案していただけています。 ・具体的ですぐに実践できるアドバイスをいただきました。	園生活の中で取り入れられるような支援を一緒に考えていきます。	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3	0	0	・お子さんに合った関わりを私たちとは違う視点からアプローチ方法を教えていただけています。 ・こちらの思いも聞いていただきながら、専門的なお話をいただきました。	お互いの専門性を大切に、アプローチについて意見交換していきます。	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	3	0	0	保育に取り入れやすく、わかりやすい回答がいただきました。		
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3	0	0	・関わりで行きづまっていた部分が軽減できています。 ・困りごとに対して具体的なアドバイスをいただいたことで、実践しやすく、実際に行動の改善になりました。	行きづまった場面をわかりやすく教えていただき、一緒に考えることができました。	
5 事業所からの支援に満足していますか。	3	0	0			
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
<p>日頃の保育の中で、どうしていくことがその子にとってわかりやすく、身に着けやすいのかを悩みながら手探りで保育している状況だったので、「今のやり方で良いです」や「このアプローチにしてみたら」などのアドバイスをいただくことができ心強かったです。具体的なことを伝えて頂けたのですぐ実践でき、その効果も見えて変化していく姿をみることでモチベーションを保つことができました。2か月おきに訪問があったことで、成長した面や困っている面での相談が行いやすかったです。アドバイスいただいたことを実際に取り入れ経過を見る期間も丁度良いと感じました。家庭の様子と合わせて、保育園での様子を見ていただけたことで連携しやすかったです。専門的な対応や玩具を教えていただいたり、実際に試したりできたことで、イメージしやすく取り入れやすいと感じました。</p>				<p>ご意見、ありがとうございました。 園生活の様子や先生方の悩みを教えていただきながら、既にお子さんに合わせた対応をしていただいていることを確認したり、今後、具体的に取組めそうな支援を一緒に考えたりすることができました。お子さんの成長と一緒に確認できることは、お互いのモチベーションになり、保護者の育児をサポートすることにも繋がると思います。訪問の回数や期間についても、お子さんの成長と対応の効果を確認するのに丁度良いとのご意見をいただき、今後の計画に生かしていきたいです。また、保育所等訪問支援について学びを継続しながら、支援の力をつけたいと思います。 ありがとうございました。</p>		

事業所名		横浜市総合リハビリテーションセンター 保育所等訪問支援		公表日		令和8年3月26日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 体制・ 整備 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	5	1	専用のものはないが、通園で使用する教材や玩具を持参し、取り進む様子を園の先生と共有しました。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3	・今後、就労家庭が増えていく中で必要なケースが増えていくのではと感じます。 ・利用者のニーズに答えられるほどの職員配置ができていないと感じます。	希望者に対応できる体制づくり、人材育成について、今後も継続して取り組んでいきます。
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	・定期的にカンファレンスを実施して、担当ケース以外の状況も確認している。 ・担当者以外に検討班を設置し、管理者・多職種と情報共有・相談できている。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	評価表を担当間で共有しています。	
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・保育所等訪問についての検討チームを設け、共有や振り返りを行い、次年度の支援に繋げていけるようにしています。 ・機会はあるが、職員の意見が改善につなげていないように感じます。	引き続き、保育所等訪問支援の検討チームでの検討を充実させることにより、業務改善に繋がっていきます。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	関係スタッフで定期的に集まり、進捗状況や振り返りを行っています。	
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	6	0	多職種でのカンファレンスを実施しています。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・担当しているDr.OTとともに共有し、必要に応じて相談しています。 ・多職種でのカンファを実施しています。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	6	0	・事後ミーティングだけでなく、活動の合間などにも可能な範囲でやり取りをしています。 ・現状を確認するとともに、職員の体制なども考慮して計画しています。 ・アセスメント→訪問先担当者とのすり合わせ→完成したものを再度確認の手順をしています。 ・訪問時ミーティング時間をいただき、園からの意見や、意向を確認、取り入れています。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・行動観察の書式を見直しながら取り組んでいます。 ・外来対応での心理評価の結果や通園で使用している支援計画書目標一覧なども活用し確認しています。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0			
15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0			

適切な支援の提供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・全員で集まることは難しい場合には、メールなどで情報共有を行っています。 ・事後のミーティングで振り返りながら、次の支援につなげています。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	5	1	・園の方針を伺ったうえで、児童にとって必要な対応を伝え、園でできることをすり合わせました。 ・訪問先のアセスメントは行っているが、不十分さがあります。 ・訪問時のミーティングで園の方針を確認しながら支援と一緒に検討しています。	事業開始にあたり、訪問先の保育方針、理念等を理解し、先生方が日々の保育の中で工夫、対応できるような支援ができるよう努めます。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	6	0		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	保護者ともなるべく対面で確認、相談しています。また、随時状況確認をしています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	2	・民間事業所と直接やり取りする機会が少ない。 ・サービス担当者会議は未実施です。	会議の開催、出席が必要と判断した場合には、こどもの状況を理解した者が参画できるようにします。
	21	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	マンパワー・体制的に不十分と感じます。	地域のニーズに応えるには十分な体制ではありませんが、現在できる支援から積み重ね、横浜市とも支援のあり方について相談していきます。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	個別担当者とも連携し、園訪問で得た情報やニーズを共有し、就学支援に活かしています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6	0		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6	0	SWが参加している報告書を共有しています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	2	・設定している面談日以外に、訓練等で来所される際にはお声がけしています。 ・個別担当と連携をより深めながら、共有していけるといいと思います。	
26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2		保護者向けの療育プログラムや講座を企画しています。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5	1		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・訪問事業以外での個別のフォローがあります。 ・個別担当と連携しながら、園での様子、保護者からの情報・相談を共有し、支援に活かしています。	
	32	保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	保育所等訪問の利用保護者向けの特別設定はないが、集団療育を利用している保護者には懇談の機会を設定しています。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	保育所等訪問支援事業とは別に個別担当がいて、個別相談に多職種が関わっています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	4		お子さんや保護者への情報発信は、直接やりとりする方針で実施しています。自己評価はHPで発信しています。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	書面や具体物を使って情報共有をしています。		

訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	6	0	保護者を通じてや園からの相談ニーズを受け取り、生活に生かせるよう児童への関わりを検討しています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	6	0	・園側からは担任だけでなく、園長も同席していただいています。 ・訪問後ミーティング、カンファレンスの時間を園と事業所と設け、支援の検討をしています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	6	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	6	0	児童や訪問先のニーズによって、多職種で訪問を行い、対応を検討しています。	
非常時等の対応	42	事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等のマニュアルを策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	リハ事業団・リハセンター全体として行っています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	・リハ事業団・リハセンター全体として行っています。 ・周知は全職員に行き届いていないように感じます。	リハ事業団、リハセンター全体で行っている計画について、全職員に周知できるよう努めます。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	研修等で毎年確認しています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	4	・身体拘束の必要性はない。 ・身体への直接介助の理由や意味は丁寧に伝え、共有するようにしています。	身体への直接的な介助の必要性については、職員間、組織内で共有し、子ども本人の人権を守ることを第一に対応します。